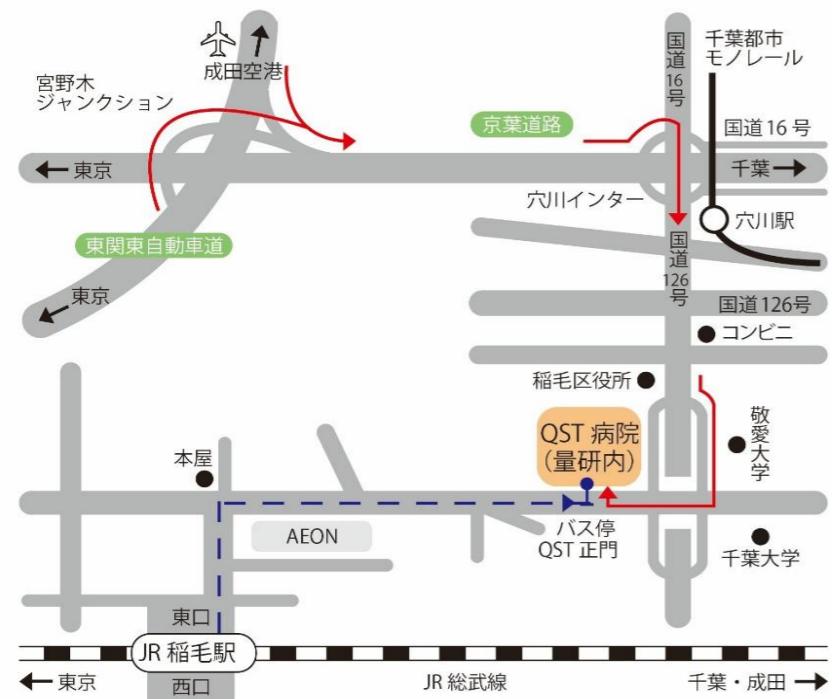


アクセス



公共交通機関ご利用の場合

◎JR総武線 稲毛駅（総武線 快速・各駅 停車）

*JR稻毛駅東口より徒歩15分

*JR稻毛駅東口バスターミナル（2番乗り場）よりバス乗車 → QST正門下車

（山王町行、千葉センター行、ザ・クイーンズガーデン稻毛行）

お車でお越しの場合（駐車場有り ※正門からお入りください）

*京葉道路：穴川インターより10分（注意：稻毛区役所付近で側道へ）

*東関東自動車道：宮野木ジャンクション → 京葉道路・穴川インターへ

電話相談

重粒子線治療に関する相談をお電話にて受け付けています。

Tel:043-284-8852

月曜日～金曜日（祝日、休日年末年始は除く）

午前 9:00～11:30 午後 12:30～15:00

当院ホームページは
こちらから！！



国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構

QST病院（旧放射線医学総合研究所病院）

Tel:043-206-3306（代表）

〒263-8555 千葉県千葉市稻毛区穴川4-9-1

当院ホームページ【<https://hospital.qst.go.jp>】

重粒子線治療をお受けになりたい方へ ～肺がん～

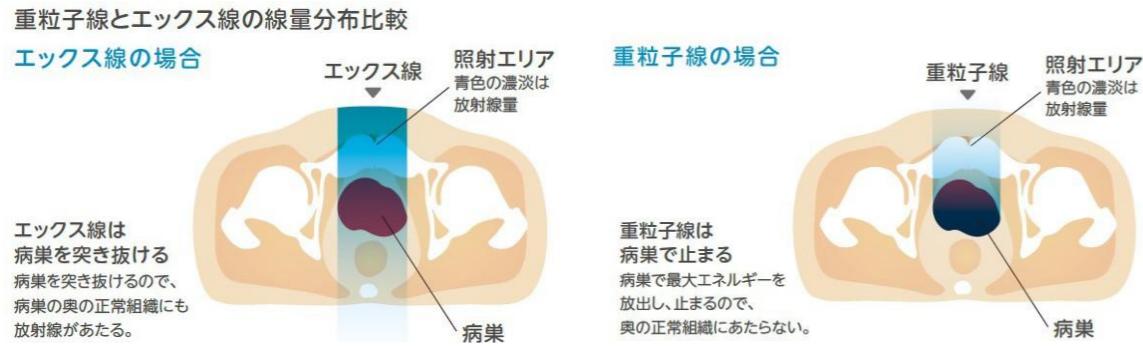
国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構

QST病院



重粒子線治療とは

- 一般の放射線治療と比べ、がん病巣に集中して照射できます。
- 一般的な放射線が効きにくいがんにも効果があります。
- 通院での治療もできます。



適応となるかた

(2025年9月現在)

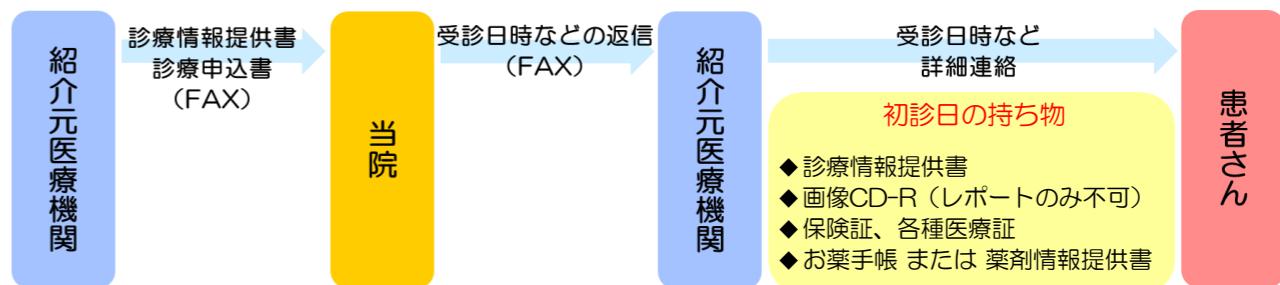
- 他の臓器に転移のない肺がん（ステージⅠ～Ⅲ）と診断された方
- 原則として手術による治療が困難である方（手術を希望されない方も適応となります）

よくいただくご質問と回答

- 治療期間**はどれほどですか。
ご病気の状態によって**1日**で終わるものもありますが、**約4週間**必要となる場合もあります。
そのほか治療の準備に2～3日程度を要します。
- X線治療**との違いは何ですか。
重粒子線治療では**範囲を絞って治療**することが可能です。
肺、気管、心臓、食道などの臓器へのダメージを減らすことができる可能性があります。
- 過去にX線治療を受けている場合も重粒子線治療は受けられますか。
X線治療の状況次第では重粒子線治療を行なうことが可能です。
QST病院から主治医の先生にご相談し、X線治療の資料をご用意いただきます。
- 治療は通院でも可能でしょうか。
原則通院で治療を行なっていますが、希望される場合は入院も可能です。
- 治療中や治療後に注意することはありますか。**
治療による食道炎のために**1～2か月間、刺激物や飲酒を避けて**いただく必要があります。
また、**治療前から禁煙**をお願いします。
- 間質性肺炎があると言われていますが、重粒子線治療は受けられますか。
状況次第では可能ですが、治療後の副作用は通常よりも強くなる可能性があります。

受診について

- 当院での治療目的の受診は原則として医療機関からの紹介予約制となっています。
重粒子線治療を希望される方は、まずかかりつけの医療機関の医師にご相談ください。



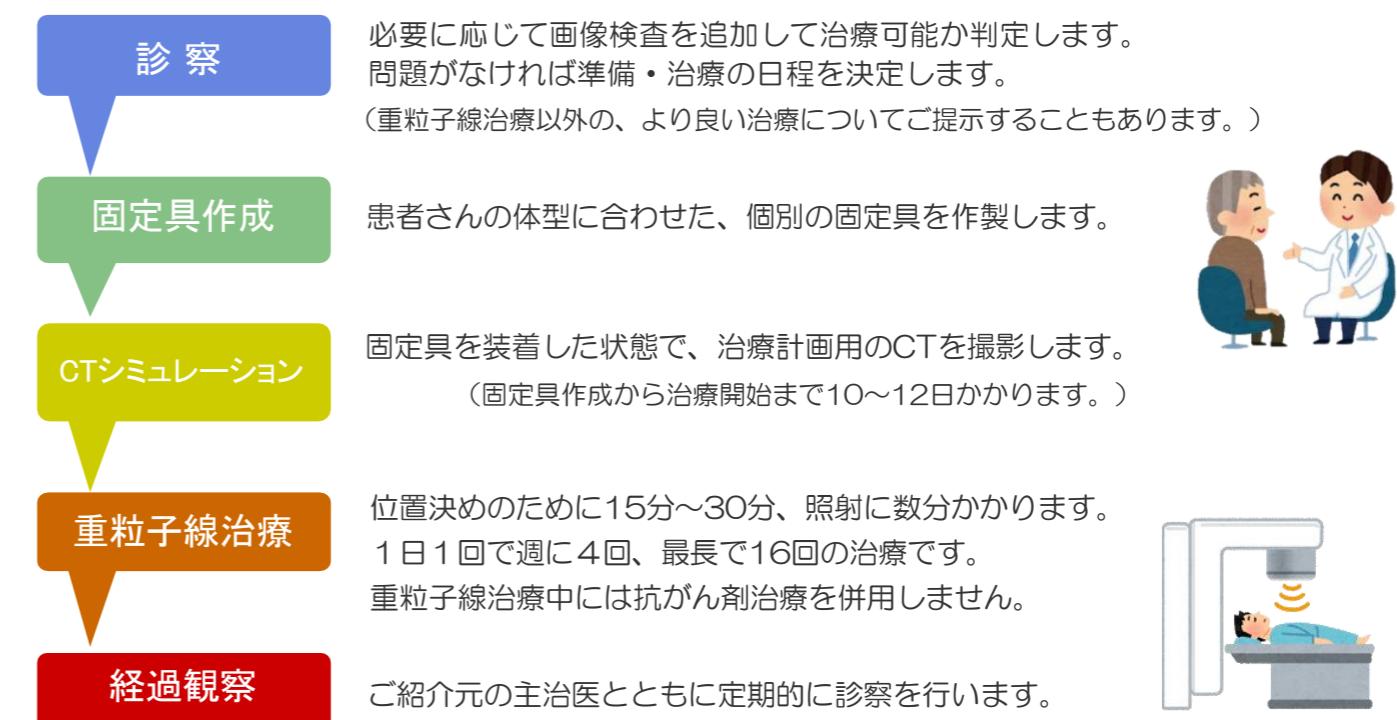
FAX送付先：043-206-3439（地域医療連携室）

電話相談：043-284-8852（詳細は裏面を参照）

そのほか特定の疾患や病歴により必要となるものは個別にご案内します。

治療の流れについて

重粒子線治療では、安全で精度の高い照射を行うために、治療前に患者さんに合った治療方針を事前にしっかり検討したうえで、固定具作製や治療計画用のCT撮影などを行います。



治療費について

肺がんに対する重粒子線治療は、2024年6月より、**早期肺がんの一部**に対して**公的医療保険**が適用されています。重粒子線治療に関わる治療関連費用は237.5万円と定められており、これに検査や入院等の費用と合わせた金額から、ご加入の健康保険の区分によって1～3割の額がご負担額となります。（高額療養費制度もご利用いただけます。）また、それ以外の対象については引き続き**先進医療**が適用されます※。先進医療の場合、重粒子線治療の技術料344万円が全額自己負担となり、一般の保険診療と共に通する部分は、保険医療と同様1～3割の額がご負担額となります。（※民間の生命保険会社による先進医療特約等が利用できる場合があります。詳しくは、各保険会社へお問い合わせください。）